

岩美町防災訓練

10月14日（日）岩美北小学校、岩美中学校、旧田後小学校グラウンドで、岩美町防災訓練が行われました。

当日は、鳥取県沖東部断層で震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令されたという想定のもとで、浦富・田後・東地区の千人以上の住民の方が避難訓練に参加し、また、岩美北小学校では、陸上自衛隊、岩美消防署、岩美町消防団などの防災関係機関により、消火訓練、防災ヘリコプター、はしご車による救助訓練、倒壊家屋からの救出訓練、炊き出し訓練などを行いました。

昨年3月11日に、東日本大震災という未曾有の大災害が発生してから、1年半が経過しましたが、あの惨状を決して忘れることなく、皆さんが災害が起きたときにまず何をすべきか、何ができるのかを日頃から考えるようにしましょう。



岩美町だからこそできること

「山陰海岸ジオパーク」を科学する

岩美中学校3年

研究論文掲載

岡野元哉さん

この度、岩美中学校3年岡野元哉さんのルリガイに関する研究論文が、日本貝類学会誌「VENUS」(ビーナス)に掲載されました。

岡野さんは、小学生の頃から暇を見つけては浦富海岸に出かけ、採集した貝殻を山陰海岸学習館に持ち込み、種類や名前などを調べ、自分なりにまとめてきました。

岡野さんは、「研究は、とても難しかったです。将来なりたいものがたくさんありますが、学芸員も魅力ある仕事のひとつです。」と研究の楽しさを改めて感じたようです。

研究の指導にあたった山陰海岸学習館の和田年史学芸員は、「昔からの自然が残っている岩美町の海だからこそできたこと。身近な生き物でこのように素晴らしい研究ができる」と分かってもらえたと思う。」と言われており、山陰海岸ジオパークのある岩美町は、科学するにはもってこい

の場所のようです。

また、今年も行われた「山陰海岸ジオパーク作品展」の特別賞には、『ジオパーク琴引浜』（京丹後市立網野南小学校4年 山下真依さん）、『ジオグルメ食べ歩きの旅』（鳥取市立河原第一小学校6年 松岡美咲木さん）、『浦富海岸の花こう岩の節理調査』（岩美中学校1年 山口皓太郎さん）が選ばれました。この作品は、11月1日～4日に行われるいわみフレッシユフェスティバルで展示されます。

研究の題材は身近なところにたくさんあるようです。これから、「山陰海岸ジオパーク」を科学する子どもたちが多く生まれることを期待しています。

